



九州歯科大学 図書館だより NO.64



秋気さわやかなよい季節になりました。

先日、ノーベル医学生理学賞を受賞された大村智先生は研究や講演をこなす傍ら、本を読んで感銘を受けた言葉を長年、日記帳に書きためていたそうです。

秋の夜長、皆さんも是非、素晴らしい言葉に出会えるように

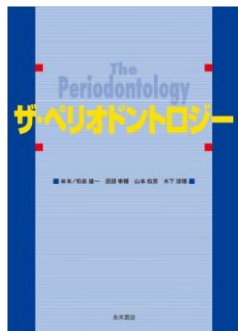
図書館を訪れてみてください。

図書館運営委員 古株彰一郎

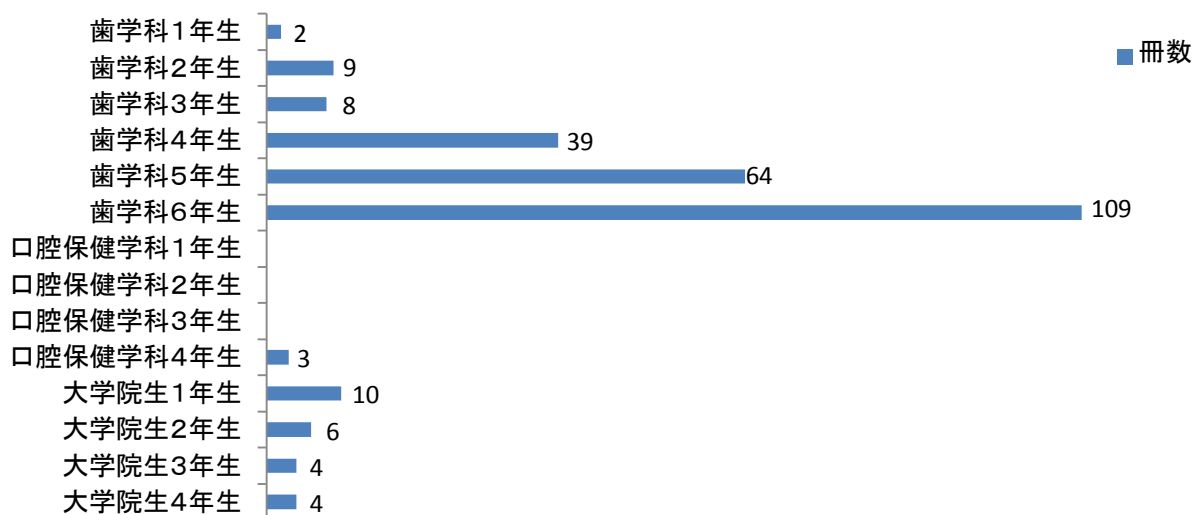
貸出ランキング

2015.9

- 1位 ザ・ペリオドントロジー = The periodontology / 和泉雄一 [ほか] 編著
- 2位 衛生 / 麻布デンタルアカデミー編
- 3位 先天異常; 顎関節疾患; 損傷; 炎症・アレルギー / 麻布デンタルアカデミー編
- 4位 歯科医師国家試験問題解説 / 麻布デンタルアカデミー編 第104回
- 5位 歯科医師国家試験問題解説 / 麻布デンタルアカデミー編 第106回
- 6位 歯科医師国家試験問題解説 / 麻布デンタルアカデミー編 第107回
- 7位 小児歯科学 / 高木裕三, 田村康夫, 井上美津子, 白川哲夫編; 高木裕三 [ほか] 執筆
- 8位 口腔外科学 / 白砂兼光, 古郷幹彦編
- 9位 歯科麻酔学 / 古屋英毅 [ほか] 編集
- 10位 無歯顎補綴治療学 / 細井紀雄 [ほか] 編集



貸出冊数(9月)



ただの自己啓発本ではない。

先生のようにこうしましょう、ああしましょう。などと言われると、あまのじゃくな私はどこか他人事のように心に響かない。しかし、この本は初めから最後まで、何でも話せる親密な友人のように、赤裸々に言いたいことをいう。過去の恥ずかしい話も多少のフィクションを混ぜてもいいのに、本当だろうことをいう。だからこそ、この人が言うことは面白いし話がストンと入ってくる。

題名にある「野心」という言葉は、

謙虚さがよいとされる日本においてなかなか使いにくい、悪い言葉のように扱われることもしばしばある。実際、わたしもこの本を読むときに表紙がなんとなく恥ずかしく、人の目を気にしてしまった。

しかし、この本を読むと「野心」についてのイメージがかわる。

作者がこの本でいう野心は「健全な野心」だ。

第一線で働く人は、少なからずこれを持っている。

自分の将来をシビアに見据え、自分のやりたいことを実現するには、自分がいま何をやるべきか。こうした努力と「野心」がぐみあわさって、運命が切り開ける。

これが「健全な野心」だ。

つまり「健全な野心」をもっていないということは、自分のやりたいことがわかっていないということになる。正面からパンチをもらったようだった。今の自分に足りていないものだったからだ。これにまず気づき、自分は何も知らないことを受け止める。すぐく勇気があるが作者いわく現状認識、無知の知こそ「健全な野心」への第一歩だそうだ。

心に突き刺さる言葉がたくさんあって途中から心苦しくもあった。

特に印象的だったのが『「止まっている不幸」の恐ろしさ』という話だ。

ここでは「走っている不幸」がその対となるものとしてだされている。作者の言葉を引用すると

“「走っている不幸」は本人には辛くても、端から見ていて明るい爽快感がある。きっとどうにかなるよ、と肩を叩き、励ましたくなってくる。

本当に恐ろしいのは「止まっている不幸」。

自分の欲望さえ把握できない人たちは、何を目指して努力したらいいのかさえ見当がつかない。すると、いっそうの無力感に襲われ、ますます不幸の温度がたかまっていく。”

自分の言いようのない閉塞感はどこからきているのか！と、恥ずかしながらこの本を読んで気づかされた。

自分を正当化するようで気が引けるが、

人はつい流されてしまうものだと思う。

それはうまく人間関係を築く上でしばしば「協調」と言葉をかえるが、一度切りの人生、他人の言う通りになんとかではなく、冴えた頭をもって真面目に向き合っていきたいものだ。

最近ツイテないな、なんとなく今の状況に満足しない、

と思う人におすすめしたい本である。



第5回 図書館選書ツアー参加者募集！

日時：2015年11月30日（月）17時～18時半

場所：ブックセンタークエスト小倉店

（図書館集合・現地解散）

対象：九州歯科大学学生 10名

申込先：図書館カウンター

（申込用紙はカウンターにあります！）

申込期限：2015年11月25日（水）

参加特典：コピーポイント

★200ポイント進呈★

購入した本を図書館に展示し、本の紹介を行います。

岩波新書×新着図書

★「昭和天皇実録」を読む
原武史 著

☆イスラーム圏で働く：
暮らしとビジネスのヒント
桜井啓子 著

★人間・始皇帝
鶴間和幸 著



☆ヒョウタン文化誌：
人類とともに一万年
湯浅浩史 著